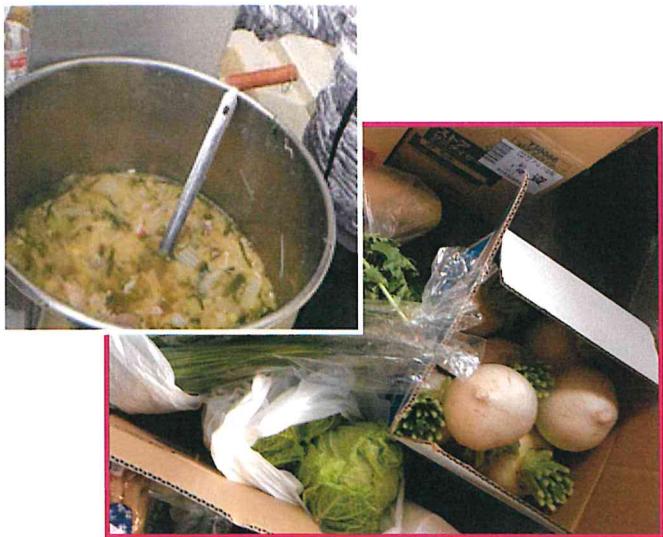


生野きらきら子ども食堂

毎日新聞 2020.12.19

12月19日(土)
おにぎりと豚汁 テイクアウト

生野小学校の校長先生に相談に行き、校庭で「炊き出し」の提案を頂きました。生野小学校おやじの会と協力して、コロナバージョン「生野きらきら子ども食堂」を開催。



▼クリスマスプレゼントも
たくさんの寄付を頂きました



何が入っているかな～？？



下関「生野きらきら子ども食堂」

炊き出し形式で復活



コロナ禍中断
豚汁の販売停止する
ボランティアたち

生野きらきら子ども食堂は、2016年7月から「高齢社会をよくする下関女性の会」の田中隆子代表(56)が中心となって始めた。「支援を必要としている子どもたちに届いてほしい」との思いで毎月2回、同市生野町の集会所でボランティアが集まってカレーや煮物など栄養豊富な料理を無償で振る舞い、毎回約40人の親子が食事を囲んでいた。集会所が狭く、ボランティアには高齢者が多かった。問題は、「豚汁の販売停止する」との話だ。

今後は、2021年1月以降も毎月1回

同様に「おにぎりと豚汁」を提供する予定だ。問ひ合せは田中代表の090-1234-5678。

新型コロナウイルスの感染拡大により、春から中断していた下関市の「生野きらきら子ども食堂」が、炊き出し形式で復活する。人前を用意し、訪れた人に無償で持ち帰ってもらいう。午後1時まで、無くなり次第終了する。【佐藤穂平】

【佐藤穂平】

きょう おにぎりと豚汁 提供

多いところから、危険を避けるため、年々自以降は開催せず、やっとやめて、「生野きらきら子ども食堂」が協力を余儀なくされ、やや良有志、おやじの会が協力を始めた。しかし、感染拡大をしながら支援を継続しようと話し合い、同

年1月以降は開催

て今回、生野小学校

で炊き出し形

式で振る舞い、毎

月2回、同市生野町の

集会所でボランティア

が集まってカレーや煮

物などを栄養豊富な料理

を無償で振る舞い、毎

月2回、同市生野町の

集会所でボランティア

が集まってカレーや煮

物などを栄養豊富な料理



▶おにぎりは環境にやさしい紙製品で包みました

